

2021 年度研究集会
日本雑草学会 学術研究部会
小規模農業における雑草の利用管理研究会
照葉樹林文化研究会共催

世話人 宮浦理恵（東京農業大学）
山口裕文（大阪府立大学）

モンスーンアジアでは、雨季のおとずれにより雑草の生育が旺盛になり、作物との競争により雑草害を引き起こすことは周知のとおりです。それゆえ、人にとって最も身近な植物として雑草が認識され、地域の自然環境に応じて食や生活文化に利用され地域特異的な「環境一人一植物」システムが形成されています。雑草の特性とそれを利用する技術と知恵を詳らかにしていくことは、モンスーンアジアの小規模農業の持続的食農システム発展の方向性を定める上で非常に重要です。本研究集会では、雑草の種子を食べる技術、日常の弁当に利用する方法について話題提供していただき、雑草の利用管理について議論を深めます。

なお、本研究会は、日本雑草学会の補助を受け開催します。日本雑草学会員に限らず一般の方も無料で参加頂けます。Form でお申し込み下さい。

開催方法：オンライン（Zoom リアルタイム参加のみ）

日時：2021 年 10 月 16 日(土)14:00～15:30

14:00～14:05 世話人挨拶

14:05～14:45

題 目：雑草の種子を食べよう

講演者：松本(河井)初子（大阪府立農芸高等学校）

14:45～15:00

コメント：雑草を日常に生かす：雑草弁当

山口裕文（大阪府立大学名誉教授）・間 絵莉子（Happy Eco Life）

15:00～15:15

コメント：小規模農業における食と農と雑草

宮浦理恵（東京農業大学）

15:15～15:30 総合質疑

申込み：以下のフォームにてお申し込みください。

登録されたメールに Zoom URL をお送りします。

【10 月 14 日(木)申込締切、10 月 15 日 URL 配信予定】

<https://forms.office.com/r/Wq4rvetGKW>

